

## 第2学年外国語科学習指導案

日 時：令和〇年〇月〇日（〇）〇校時

学 級：第2学年〇組〇名

場 所：ITルーム

授業者：T1 〇〇 〇〇

T2 〇〇 〇〇

ALT 〇〇 〇〇

### 1 単元名

Unit 6 Research Your Topic & Research and Presentation (New Horizon English Course 2)

### 2 単元の見目

ALTに自分たちのことをよりよく知ってもらうために、身近なトピックに関する調査とその結果発表を読んで理解し、自分たちのクラスで人気のあるものやことについて、その結果や自分の考えをまとまりのある内容で話すことができる。

### 3 単元について

#### (1) 生徒の実態

本学級の生徒は、「分かりたい」、「できるようにになりたい」という思いはあるが、自分の考えを表現したり、感情を表したりすることが苦手であり、授業中の反応や発言も少ない。また、言いたいことがうまく表現できず、途中であきらめてしまう生徒や学習意欲が低い生徒も見られる。

このような生徒の実態から、本単元では、ALTに自分たちのことをよりよく知ってもらうために、身近なトピックで調査を行い、その結果をまとまりのある内容で話すことができるという単元見目に向けて、見通しをもって学習に取り組めるようにする。

単元導入時にALTから「今、中学生に人気のあるものって何なの？みんなの好きなものやことを教えてくれない？」と問いかけをし、その問いかけに答えるという目的に向けて学習を進める。第8時には、JTEが発表のモデルを示すことで、生徒に単元のゴールの姿をイメージさせるとともに、「自分もこんなふうにやってみよう！」という意欲を引き出しながら、指導を進める。

調査内容は、ALTからの問いかけをもとに生徒自身が考える。そして、生徒の興味や関心に応じたグループ分けを行い、アンケートの実施、集計をグループで行う。しかし、資料作りや発表は個人で行うことで、一人ひとりが自分事として発表でき、全員に「できた！」「話せた！」という達成感をもたせたい。

#### (2) 教材について

Unit 6は、映画に関するクラス内調査とその結果発表のプロセスを紹介するものであり、その流れを受けて、Stage Activity 2で生徒自身が同様の活動に取り組める教材となっている。

言語材料としては、形容詞や副詞の原級、比較級、最上級を用いた比較表現が扱われている。これらの学習を通して、身近なことや生徒が興味をもっている複数のものや人について比べることが可能になる。また、一連の言語活動を通して、課題を設定する力や情報を収集しそれらを整理する力、またそれらを基に資料を作成、活用して発表する力を身に付けさせたい。

#### (3) 指導について

前半の学習では、教科書の映画に関する調査とその結果発表のプロセスから、自分たちの発表の流れやそのために必要な言語材料の確かな習得を目指したい。そのため、帯活動としてSmall TalkやMini Activityを行い、比較表現等の定着を目指す。

後半の学習では、生徒の興味や関心に応じたグループで、アンケートの作成、実施、分析を行うが、資料作成からは個人で行い、一人ひとりが自分事として取り組めるようにする。そして、ペアやグループで話したり、タブレットで録画した自らの様子を振り返ったりしながら、単元終末のグループ発表、ALTへの発表（パフォーマンステスト）に自信をもって臨めるように指導したい。

タブレットを活用し、資料やキーワードを頼りに話すことで、事前に書いた原稿を暗記するのではな

く、聞き手に配慮した発表をしながら、即興で話す力を身に付けることが可能になる。そのため、反応や質問する力など、聞き手への指導も積み上げていきたい。

このようなスモールステップでの指導を大切に、小さな「できた!」「話せた!」という成功体験を積み上げ、英語で発表することの楽しさや相手に伝わることの喜びを感じさせたい。

**(4) 生徒が「読み解く力」を、高め、発揮している姿とそのための手立て**

<p>【「読み解く力」の二つの側面】</p> <p>A…主に文章や図、グラフから読み解き理解する力</p> <p>B…主に他者とのやりとりから読み解き理解する力</p>	<p>【「読み解く力」の三つのプロセス】</p> <p>①…発見・蓄積：必要な情報を確かに取り出す</p> <p>②…分析・整理：情報を比較し、関連付けて整理する</p> <p>③…再構築：自分なりに解決し、知識を再構築する</p>
--	--

<p>【A①】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教科書 (P.84~97) の内容理解を通して、調査結果を伝えるために活用できる表現(比較表現等)を理解する。</li> </ul>	<p>【B①】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>指導者のモデルを見て、発表方法の工夫に気付く。</li> <li>Mini Activity や Small Talk で比較表現を使いながら、その意味や語順等に気付き、理解する。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>調査結果を伝えるために活用できる比較を表す語や表現に着目しながら読む。</li> <li>Mini Activity や帯活動 (Small Talk) に継続して取り組むことで、新出語彙や表現への気付きと理解を深める。</li> </ul>	
<p>【A②】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>調査結果を分析し、結果を示す図表やグラフなどの資料を基に、聞き手に伝える内容を整理したり話の展開を考えたりする。</li> </ul>	<p>【B②】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>録画した映像や友達の発表を基に自分の発表を振り返るとともに、友達からのアドバイスや中間指導を生かし、再度聞き手に分かりやすい話の展開になっているか吟味する。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>調査結果を分析し、効果的に伝えるための資料を基に、伝える内容を整理したり話の展開を考えたりする。</li> <li>友達のアドバイスや中間指導を参考に、聞き手に分かりやすい展開、内容、伝え方になっているか吟味する。</li> </ul>	
<p>【A③】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事実や考えなどを整理し、資料を効果的に活用しながら聞き手に分かりやすく発表する。</li> </ul>	<p>【B③】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>友達からのアドバイスや中間指導を生かし、聞き手がさらに知りたい内容を加えたり、問いかけなどの工夫をしたりして、分かりやすく発表する。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>友達のアドバイスや中間指導を生かし、伝える内容を精査したり、聞き手に問いかけたりするなどの工夫をする。</li> </ul>	

**4 単元の評価規準 【話すこと (発表)】**

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>比較表現やこれまでの学習事項を用いた文の形・意味・用法を理解している。</li> <li>比較表現やこれまでの学習事項を用いて、クラスで人気のあるものやことについて、その結果や自分の考えをまとめて発表する技能を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ALT に自分たちのことをよりよく知ってもらうために、クラスで人気のあるものやことについて、その結果や自分の考えをまとまりのある内容で話している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ALT に自分たちのことをよりよく知ってもらうために、クラスで人気のあるものやことについて、その結果や自分の考えをまとまりのある内容で話そうとしている。</li> </ul>

**5 指導と評価の計画 (全 13 時間)**

*※実線は、「読み解く力」のAの側面、波線は、Bの側面に関わる留意点や評価規準*

次	時	主な学習活動 / ICT の活用 ねらい (■) 言語活動等	評価規準・評価方法			
			知	思	態	備考
一	1	Orientation Preview / Scene 1 p.84, 85 ■単元の目標を理解する。(Listening・Reading)				・毎時間、学習の振り返りを行う。 ・第 12 時、第 13 時の終末

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ALTの問いかけを聞いて、単元の目標を理解し、自己目標を設定する。</li> <li>・比較級、最上級の意味や用法について理解し、使えるようにする。</li> </ul>			<p>課題に向け、帯活動として Small Talk を行い、比較表現等の定着を目指す。</p>
二	<p>Scene 2 p.86</p> <p>■ジョシュと朝美の対話を読み取る。(Reading)</p> <p>2</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対話の概要を捉える。</li> <li>・比較級、最上級(つづりの長い)の意味や用法を理解し、使えるようにする。</li> </ul>			<p>記録に残す評価は行わない。ただし、ねらいに即して、生徒の状況は確実に見届けて指導に生かすことは毎時間行う。活動させているだけに ならないよう十分留意する。</p>
	<p>Mini Activity 1 p.87</p> <p>■トリビアクイズを出し合い、クイズ王を決める。(Speaking・Listening)</p> <p>3</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレットを活用し、情報を集め、比較表現等を用いたトリビアクイズをつくる。[タブレットの活用]</li> <li>・トリビアクイズを出し合い、クイズ王を決める。</li> </ul>	○		
	<p>Read and Think 1 p.88、89</p> <p>■ジョシュの発表を読み取る。(Reading)</p> <p>4</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Small Talk を行う。(面白いテレビ番組や映画)</li> <li>・調査結果を読み、必要な情報を捉える。</li> <li>・基本文や新出表現を理解する。</li> </ul>			
	<p>Read and Think 1 p.88、89</p> <p>■ジョシュの立場で、調査結果を伝える。(Reading・Speaking)</p> <p>5</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Small Talk を行う。(一番好きな食べ物)</li> <li>・ジョシュが伝えたい内容や発表する際に効果的な表現について意識しながら、音読する。</li> </ul>			
	<p>Read and Think 2 p.90、91</p> <p>■フィードバックシートを読み取る。(Reading)</p> <p>6</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Small Talk を行う。(一番好きな教科)</li> <li>・フィードバックシートのコメントを読み、概要を捉える。</li> <li>・基本文や新出表現を理解する。</li> </ul>			
	<p>Read and Think 2 p.90、91</p> <p>■海斗の立場で、フィードバックを伝える。(Reading・Speaking)</p> <p>7</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Small Talk を行う。(好きな有名人や芸能人)</li> <li>・海斗が伝えたい内容を意識しながら、音読する。</li> <li>・第1次の学習内容を振り返る。</li> </ul>			
三	<p>Research and Presentation p.96</p> <p>■発表の流れを確認し、英語でアンケートを作成する。</p> <p>8</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・JTEの発表モデルを見て、発表の工夫に気付く。</li> <li>・グループ(4人)で調査内容を決め、英語でアンケートを作成する。</li> </ul>			

9 ～ 11	<p>■ アンケートの実施、集計、資料づくりを行い、それらを基に伝えたい内容をまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学級内でアンケートを実施し、グループごとに英語で結果を集計、分析する。</li> <li>・結果のまとめ方 (p.97) を理解する。</li> <li>・タブレットを使って、資料 (図表、グラフ、キーワード) を作成し、伝えたい内容をまとめる。[タブレットの活用]</li> </ul>				
12 本 時	<p>■ ALT への発表に向けて、調査結果や自分の考えをまとまりのある内容で友達に話すことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・めあてを確認する。</li> <li>・グループで発表し合い (録画)、友達からフィードバックをもらう。</li> <li>・全体での中間指導を聞く。</li> <li>・友達からのアドバイスや中間指導を受けて、録画した映像を見ながら、展開や内容、伝え方を修正する。</li> <li>・修正した部分を意識して、グループで再度発表 (録画) し、録画した映像を個人で振り返る。</li> <li>・録画した映像を提出する。[タブレットの活用]</li> </ul>	○	○	○	
13	<p>Performance Test</p> <p>■ ALT に調査結果や自分の考えをまとまりのある内容で話すことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ALT の前で、1人ずつ発表を行う。[タブレットの活用]</li> <li>・自己目標の達成度を振り返り、次の課題を明確にする。</li> </ul>	○	○	○	

## 6 本時の目標 (本時：12/13 時間目)

ALT への発表に向けて、調査結果や自分の考えをまとまりのある内容で友達に話すことができる。

## 7 本時の評価規準

条件 1 調査結果を述べている。

条件 2 調査結果に対する自分の感想や考えを述べている。

条件 3 聞き手を意識し、まとまりのある内容を話している。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	誤りのない正しい英文で話すことができる。	聞き手を意識し、調査結果とそれに対する自分の感想や考えを詳しく述べながら、3つの条件を満たして発表している。	聞き手を意識し、調査結果とそれに対する自分の感想や考えを詳しく述べながら、3つの条件を満たして発表しようとしている。
b	誤りが一部あるが、コミュニケーションに支障のない程度の英文を用いて話すことができる。	3つの条件を満たして発表している。	3つの条件を満たして発表しようとしている。
c	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。

8 本時の展開 ※実線は、「読み解く力」のAの側面、波線は、Bの側面に關わる留意点や評価規準

	主な学習活動等	指導上の留意点(・) ICTの活用(☆) 評価規準(□)
2分	1. めあての確認	・本時の流れとめあてを明確に示す。
12分	<p style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">Today's Goal: ALT への発表に向けて、調査結果や自分の考えをまとまりのある内容で友達に話すことができる。</p> <p>2. グループ発表</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ内で発表し合う。(☆録画)</li> <li>・聞き手は、反応や質問、フィードバックを述べたりする。</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>Presenter: My presentation is about school lunch. 90% of our classmates like school lunch. Our classmates like school lunch better than lunch boxes. "Age pan" is the most popular food in our class. Please try it. Thank you.</p> <p>A: "age pan"って ALT の先生に分かるのかな?</p> <p>B: Why do our classmates like school lunch?</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・聞き手は、反応や質問、あるいはフィードバックを1発表につき1回以上することを事前に伝えてから、グループ発表を行う。</li> <li>・フィードバックで使えるような視点を板書しておく。</li> </ul>
10分	<p>3. 中間指導</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次の3つの視点から中間指導を聞く。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>①内容の工夫(相手意識)</p> <p>②調査結果(事実)+感想・考察(自分の考え)</p> <p>③文法的な誤り等言語面の指導</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ発表で見つけた生徒の姿を価値付けながら、中間指導を3つの視点から行う。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>①内容の工夫(相手意識)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・聞き手を意識した内容を価値付ける。</li> <li>・ALTは、さらに知りたい内容を生徒に伝える。</li> </ul> <p>②調査結果(事実)+感想・考察(自分の考え)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特に優れていた感想・考察を取り上げ、価値付ける。</li> </ul> <p>③文法的な誤り等言語面の指導</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・気になる誤りを板書し、ペアで間違いについて正しく直させ、言語面の正確性を高める。(比較表現、接続詞、単数複数 など)</li> </ul> </div>
10分	<p>4. 個人で修正</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・録画した映像や友達からのフィードバック、中間指導を参考に、自分の発表を見直し、展開や内容、伝え方を吟味する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・録画した映像を活用し、修正点に気付けるような声かけをしたり、積極的に教員にたずねたりするように促す。</li> <li>・本時のめあてを再度確認しながら、中間指導が生かしているかを見届け、フィードバックをする。</li> </ul>
13分	<p>5. グループ発表</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・修正した部分を意識してグループで再度発表し、録画した映像を個人で振り返る。(☆録画)</li> <li>・録画した映像を提出する。</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>Presenter: My presentation is about school lunch. 90% of our classmates like school lunch. Our classmates like school lunch better than lunch boxes because we can eat a hot meal. "Age pan" is the most popular food in our class. Do you know it? It's fried bread with soybean flour. According to the Internet, "age pan" is the most popular food in Japan. So, please try it. Thank you.</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>②調査結果(事実)+感想・考察(自分の考え)</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 10px;"> <p>①内容の工夫(相手意識)</p> </div>
3分	<p>6. 振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・録画した映像を見ながら、本時のめあてに沿って本時にできるようになったことを振り返り、次時への見通しをもつ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・録画した映像を活用し、本時のめあてに沿って振り返りをさせ、次時のパフォーマンステストで気を付けたいこと、できるようになりたいこと等について書くように促す。</li> </ul>